

令和 2 年 度

( 当 初 予 算 )

# 主 要 事 項 一 覧

総 務 部

主要事項  
政策部

(単位:千円)

事項名	企画調整費	予算額	2,560	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 連携企画推進事業費(JAXA連携推進事業)	一般財源	2,560	139	企画課

1 目的 JAXA(※)と連携し、宇宙技術を活用した課題解決や宇宙を切り口にした産業振興等の可能性を検討、推進することで、宇宙や科学技術に対する理解を広めるとともに、宇宙技術や宇宙利用の活用事例の創出につなげることを目指す。

2 事業内容 課題解決や佐賀県が持つ資源や特性を生かした宇宙利用について、JAXAと共に連携可能性がありそうなテーマを検討する。  
可能性を見出せた連携策(テーマ)について、実現に向けた可能性調査等の取組を推進する。

(1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
連携可能性(研究テーマ)検討	(実施イメージ) ・研究会開催 ・情報収集	560
連携(研究テーマの実現に向けた取組)推進	(実施イメージ) ・JAXAとの連携による幅広い分野での「宇宙」利用や連携可能性を検討 (例:県産食材等を使った宇宙食開発、災害時データ利活用に伴う委託など)	2,000
合計		2,560

※JAXA(国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構/理事長:山川宏)  
政府における宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関。

主要事項  
政策部(危機管理・報道局)

(単位:千円)

事項名	防災対策事業費	予算額	9,330	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 災害時におけるドローン活用検討事業費	一般財源	9,330	155	消防防災課

1 目的 令和元年佐賀豪雨災害の経験を踏まえ、災害時におけるドローンの有効な活用について検討し、本県独自の活用法やオペレーションを構築する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度(2020年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
検討会の開催	有識者による検討会の開催	3,830
災害時活用実証	・検討会での意見・提言を踏まえた実証実験、検証 ・ドローン関係者による活用訓練 等	5,500
合計		9,330

主要事項  
政策部(危機管理・報道局)

(単位:千円)

事項名	無線運営費	予算額	2,723,317 (債務負担)2,855,972	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	防災行政通信ネットワーク整備事業費 (債務負担行為)防災行政通信ネットワーク整備事業費	一般財源	317 (債務負担)1,972	156 (その一)11	消防防災課

1 目的 防災行政無線の設備機器等を更新するとともに、消防防災ヘリコプターテレビシステムの受信局等を整備することにより、災害時における県、市町、防災関係機関相互の迅速かつ的確な情報の伝達・収集を確保し、地域防災力の充実・強化を図る。

2 事業内容 防災行政無線通信機器等を更新するとともに、消防防災ヘリコプターテレビシステムの受信局等を整備する。

(1)事業期間 令和元年度～令和4年度 (2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費				全体
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
防災行政無線再整備工事	・無線アンテナ、映像配信装置等整備 ・ヘリコプターテレビシステム整備	307,051	2,669,832	1,375,404	1,375,404	5,727,691
工事監理	工事監理業務委託	66,638	52,582	52,582	52,582	224,384
その他事務経費	旅費、需用費等	10,810	903	903	903	13,519
合計		384,499	2,723,317	1,428,889	1,428,889	5,965,594

※財源は緊急防災・減災事業債を活用

債務負担行為限度額(その他事務費は除く)

(3)債務負担行為を設定する理由  
令和2年度～令和4年度の複数年度にわたって契約する必要があるため。

主要事項  
政策部(危機管理・報道局)

(単位:千円)

事項名	原子力防災対策強化事業費	予算額	28,582	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	原子力防災避難円滑化事業費	一般財源	0	156	消防防災課

1 目的 原子力緊急事態に備え、避難経路上のインフラ改善や交通誘導対策を強化することにより、住民の避難又は一時移転を円滑にし、原子力防災対策の一層の充実・強化を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		実施主体
			国庫	一般財源	
インフラ改善	全離島における場外離着陸場(ヘリポート)の整備(補助率:10/10)	17,205	17,205	-	唐津市
交通誘導対策の強化	筒井万賀里川線(県道342号)の電光情報板等の整備	11,377	11,377	-	県
合計		28,582	28,582	-	

※国の原子力災害時避難円滑化モデル実証事業における「原子力災害対策事業費補助金」を活用(事業期間3年以内)

主要事項  
政策部(危機管理・報道局)

(単位:千円)

事項名	消防防災ヘリコプター整備費	予算額	3,107,051	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	消防防災ヘリコプター拠点施設整備費 消防防災ヘリコプター整備事業費 消防防災ヘリコプター等管理運営費	一般財源	192,051	155・156	消防防災課

1 目的 災害発生時の迅速な初動や人命救助を可能とする消防防災ヘリコプター及び拠点施設等を整備し、地域防災力の充実・強化を図る。

2 事業内容 令和2年度末の運航開始に向けて、消防防災ヘリコプター及び拠点施設等を整備する。

(1)事業期間 平成30年度～令和2年度(2018年度～2020年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
消防防災ヘリコプター拠点施設整備費	拠点施設の建築工事、舗装工事(第1・第2駐機場、誘導路等)、多目的広場復旧工事等	1,427,157
消防防災ヘリコプター整備事業費	消防防災ヘリコプター1式、支援車両及び関連資機材等の購入	1,428,217
消防防災ヘリコプター等管理運営費	拠点施設及び防災航空隊等の管理運営	251,677
合計		3,107,051

※財源は、緊急防災・減災事業債を活用

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	私立高等学校等就学支援金	予算額	1,466,177	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	私立高等学校等就学支援金	一般財源	11,057	343	法務私学課 (私立中高・専修学校支援室)

1 目的 家庭の経済事情にかかわらず、高校生等が希望する教育を受けられるよう、県内私立高等学校等に通う生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図ることにより教育の機会均等を確保する。

2 事業内容 (1)事業期間 平成22年度～(2010年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳		備考
			国庫	一般財源	
就学支援金	高校(全日・通信制)、専修学校(高等・一般課程)に通う生徒の授業料への支援	1,435,394	1,435,394		年収約590万円未満世帯への支給上限額の引上げ
学び直し支援金	就学支援金の受給期間(36月)を超えて高校に通う生徒の授業料への支援	4,211	4,211		
	上記の対象とならない生徒の授業料への支援	911		911	
専攻科への修学支援	高校専攻科に通う生徒の授業料への支援	20,292	10,146	10,146	修学支援の創設
事務費		5,369	5,369		
合計		1,466,177	1,455,120	11,057	

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	私立高等学校等修学支援事業費	予算額	26,325	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	私立高等学校等入学金補助	一般財源	26,325	343	法務私学課 (私立中高・専修学校支援室)

1 目的 私立高等学校等における授業料軽減を図る就学支援金制度の拡充と併せ、入学金補助の対象を拡充することにより、県内私立高等学校等への進学を後押しする。

2 事業内容 私立高等学校等の入学金等(入学金及び入学申込金)の補助対象を年収約350万円未満世帯から約590万円未満世帯に拡充する。

(1)事業期間(拡充分) 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容		予算額
	対象世帯	補助率	
高等学校 (全日制・通信制)	年収約590万円未満 の世帯	1/4 (上限27,000円)	25,596
専修学校 (高等課程)			729
合計			26,325



主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	新規 高等教育修学支援事業費	予算額	265,205	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	高等教育修学支援事業費	一般財源	131,680	343	法務私学課 (私立中高・専修学校支援室)

1 目的 低所得者世帯の者に対し、修学にかかる教育費負担を軽減することにより、社会で自立し活躍できる人材を育成する  
県内私立専門学校への進学のを確保する。

2 事業内容 要件を満たした県内私立専門学校に通う住民税非課税世帯及び非課税世帯に準ずる世帯の生徒に対する授業料及び  
入学金の減免に係る経費を補助する。

(1)事業期間 令和2年度(2020年度)～

(2)事業概要

区 分	対象校	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
授業料減免に係る補助	私立専門学校 14校	237,977	118,988	118,989
入学金減免に係る補助		25,382	12,691	12,691
事務費	-	1,846	1,846	-
合 計		265,205	133,525	131,680

<※>予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	新規 私立学校職業人材育成支援事業費補助	予算額	13,713	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	私立学校職業人材育成支援事業費補助	一般財源	13,713	343	法務私学課 (私立中高・専修学校支援室)

1 目的 私立学校における職業人材の育成を支援すること等により、就職に伴う人材の県外流出を防止し、県内の職業人材の確保につなげる。

2 事業内容 私立学校における資格取得や技術習得等に必要な教育環境の充実に向けた取組を支援する。

(1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	備考
設備導入	資格取得や技術習得等に要する設備整備への補助	7,899	補助率:5/6(国1/3、県1/2) 補助上限額:1件あたり1,000千円 ※国庫補助は学校に直接交付
研修その他	教職員研修、外部人材の招聘、機材賃借、材料購入等への補助	5,814	補助率:2/3
合計		13,713	

※補助上限額:1校あたり5,000千円

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	本庁舎等整備費	予算額	11,701	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 旧館北側整備事業費	一般財源	6,701	131	資産活用課

1 目的 県庁の玄関口である旧館北側に県民に開かれた親しみやすい空間を創出する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度 (2020年度～2021年度)

(2)事業概要

内 容	予算額
旧館北側の整備に係る基本設計及び実施設計	11,701

- 〔整備イメージ〕
- ・北東の進入路設置
  - ・バリアフリー動線の整備
  - ・芝生エリアの拡大

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	本庁舎等整備費	予算額	17,688	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 くすかぜ広場利活用検討事業費	一般財源	11,688	131	資産活用課

1 目的 歩ききっかけ、楽しさを情報発信するとともに、県民や佐賀を訪れる方が集い憩える場所として整備することにより、街の賑わいを創出する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)  
(2)事業概要

内容	予算額
基本計画策定(整備の在り方検討)	4,970
造成工事に係る基本設計及び実施設計	12,718
合計	17,688

[整備イメージ]

- ・歩ききっかけ、楽しさを情報発信する施設の配置
- ・休憩施設の配置
- ・芝生広場、イベントスペースの整備

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	本庁舎等整備費	予算額	63,604	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 新館屋上ヘリ離着陸場整備事業費	一般財源	604	131	資産活用課

1 目的 令和2年度の消防防災ヘリコプター導入に伴い、災害時に限らず使用できるよう、県庁新館屋上ヘリ離着陸場を改修する。

2 事業内容 県庁新館屋上ヘリ離着陸場を航空法に基づく「場外離着陸場」の基準を満たすよう改修する。

(1)事業期間 令和2年度(2020年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
委託費	設計・監理業務委託	4,772
工事費	・脱落防止施設の設置 ・境界線等の塗装 ・泡消火栓、風向指示器の交換	58,832
合計		63,604

主要事項  
総務部

(単位:千円)

事項名	地域情報化推進費	予算額	34,932	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 SAGA・5G推進事業費	一般財源	34,932	136	情報課 (情報化推進室)

1 目的 Society5.0時代の基幹インフラとなる5Gについて、その特性を生かし、産業、交通、災害対応、スポーツなど様々な分野での活用を図る。

2 事業内容 様々な分野での活用を目的とした産学官連携の検討会・勉強会を設置するとともに、今後の各分野での展開を見据え、マルチアングル視聴(※)など、5Gの特性を活かした発信コンテンツを制作し、実証する。

(1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
検討会・勉強会	産学官連携による検討会・勉強会の設置	1,932
コンテンツ制作、実証	5Gの特性を活かした発信コンテンツ制作・実証	30,000
機器整備	実証のための5G端末の整備	3,000
合計		34,932

※ マルチアングル視聴  
ワンタッチで視点切替や選手ごとの視点でシーンを楽しむことができる観戦方法

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	地域づくり推進費	予算額	5,260	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 山のネットワーク構築事業費	一般財源	5,260	151	さが創生推進課

1 目的 山における暮らしや営みを持続可能なものにするために、今後の山の役割や山での取組について多様な人々が語り合い、ネットワークを構築することにより、未来へつながる自発的な“山活”(山での活動)の輪を広げる。

2 事業内容 県民の自発の動きによる“山活”に取り組むきっかけづくりの場として「山の会議」(仮称)を開催するとともに、山での取組や魅力を県内外に発信する。

(1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
「山の会議」(仮称)開催	山間地に限らず都市部等を含めた様々なエリアや職種の人々が、山の役割等について語り合う場として「山の会議」(仮称)を開催	1,739
山の魅力発信	山での取組や魅力を県内外に発信 (新聞、メディアとタイアップした体験ツアーによる情報発信)	3,521
合 計		5,260

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	地域づくり推進費	予算額	10,696	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 地域おこし協力隊支援事業費	一般財源	0	151	さが創生推進課

1 目的 地域おこし協力隊(OB・OGを含む)及び受入市町への支援を通して、志ある人材がさらに佐賀県に集まる環境を整備することにより、自発の地域づくりを促進し様々な地域課題の解決を図る。

なお、本事業により令和2年度以降に着任した地域おこし協力隊の県内定住率を60%以上に引き上げる。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
地域おこし協力隊支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊を導入する市町への支援</li> <li>・地域おこし協力隊(OB・OGを含む)の相談窓口開設</li> <li>・地域おこし協力隊募集に関する情報発信</li> <li>・地域おこし協力隊向けの研修</li> </ul>	10,296
成功報酬型補助	地域おこし協力隊(OB・OGを含む)の資金調達を支援するCSOに対する補助	400
合 計		10,696



主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	新規 佐賀県自治会館移転新築事業費補助	予算額	(債務負担)100,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	(債務負担行為)佐賀県自治会館移転新築事業費補助	一般財源	(債務負担)100,000	(その一)12	市町支援課

1 目的 市町職員の人材育成、情報交換等の場、県と市町の連携の拠点である自治会館の移転新築に対して支援することにより、県内市町の自治振興及び発展を図る。

2 事業内容 自治会館の移転新築事業に係る借入資金の元金償還分の一部に対して補助を行う。

(1)事業概要

内 容	年度別事業費		
	令和2年度～令和4年度	令和5年度～令和29年度	全 体
元金償還に対する補助	0	(各年度)4,000	100,000

※佐賀県自治会館移転新築の概要

事業主体:市町総合事務組合

移転場所:佐賀市堀川1-5(旧佐賀税務署跡地)

敷地面積:約3,136.81㎡

建 物:鉄筋コンクリート3階建て 延床面積 1,925㎡

総事業費:1,014,000千円(現会館の解体費用含む)

完成予定:令和3年9月

(2)債務負担行為を設定する理由

建設事業に係る令和3年度以降の県補助額を担保するため、債務負担行為を設定するもの。

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	留学生支援事業費	予算額	32,954	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	外国人留学生県内就職・進学支援事業費	一般財源	32,954	135	国際課

1 目的 外国人留学生の県内就職・進学を支援することにより、県内事業所における優秀な外国人材の活用を図るとともに、県内の多文化共生の地域づくりを図る。

なお、本事業の推進により、令和4年度までに留学生の県内就職・進学率を40%以上とすることを目標とする。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
県内就職・進学支援事業	留学生の県内就職・進学に向けた取組を行う学校に対する補助	13,600
奨学金給付事業	留学生に奨学金を給付する学校に対する補助	17,370
私費留学生支援事業	留学生に支援金を支給する民間国際交流団体に対する補助	1,984
合 計		32,954

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	空港振興対策費 観光連盟補助	予算額	85,369	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	東アジア等誘客拡大・強化事業費 観光連盟補助(東アジア等誘客拡大・強化事業)	一般財源	85,369	139・294	空港課 観光課

1 目的 韓国等からのインバウンド宿泊客が急減する状況において、誘客先の多角化を進めることで、佐賀県が世界情勢の変化にも動じないインバウンド拠点となるために、東アジア・東南アジアからの誘客を積極的に拡大・強化する。

また、九州佐賀国際空港の国際線就航都市での認知度を高めて、直行便の利用者数の増加、さらには路線拡充につなげるほか、国際線チャーター便によるトライアル運航を促し、将来的な定期便の誘致と路線の多角化につなげる。

2 事業内容 インバウンド客の県内宿泊者の増加及び九州佐賀国際空港の利用促進のため、東アジア・東南アジアへのプロモーションを実施する。

(1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
九州佐賀国際空港の利用促進	・中国及び台湾における航空会社と連携した誘客拡大促進事業 ・チャーター便を利用した旅行商品造成への補助	45,000	空港課
インバウンド客の県内宿泊者の増加	中国、台湾、タイ、シンガポールにおける新たな旅行社とのタイアップ商品造成等	40,369	観光課
合計		85,369	

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	空港施設整備事業費	予算額	3,894,084	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	空港施設機能強化事業費	一般財源	3,727,084	145	空港課

1 目的 九州佐賀国際空港の利用者・便数の増加に対応するとともに利便性の向上を図るため、空港ターミナルビルの拡張・改修、駐車場の再編・構内道路の改良を行う。

2 事業内容 (1)事業期間 平成27年度～令和3年度 (2015年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	備考
空港ターミナルビルの 拡張・改修	・搭乗待合室の拡張 ・保安検査場の移設 ・チェックインカウンターの増設 等	3,726,240	佐賀ターミナルビル(株) への補助
駐車場の再編・ 構内道路の改良	・第4駐車場の拡張 ・第1駐車場内の有料エリア検討 等	167,844	
合 計		3,894,084	

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	新幹線対策費	予算額	44,940	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	長崎本線沿線地域振興事業費	一般財源	44,940	140	交通政策課

1 目的 令和4年度の九州新幹線西九州ルートの開業後、特急列車の本数が大幅に減ることとなる長崎本線の沿線地域において、地域の魅力づくりを支援し、観光列車の活用や情報発信により、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
鉄道を利用した観光促進	・観光列車による観光客の誘致を促進 ・駅と観光地を結ぶ2次交通(シェアサイクル)の実証実験 等	7,281
地域の魅力づくり	・地域ならではの「体験」の商品化・販売促進	5,093
情報発信	・沿線地域の魅力を福岡都市圏や海外に向けて情報発信	4,176
肥前浜宿への誘客促進・おもてなし	・肥前浜駅に利き酒スペースを設置 ・肥前浜宿の観光や周辺への回遊を促進するため、観光誘導看板・サインを設置	28,390
合計		44,940

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	交通体系整備促進費	予算額	22,063	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	歩くライフスタイル推進事業費	一般財源	22,063	140	交通政策課

1 目的 歩くきっかけや楽しさを提案するとともに、自転車や公共交通の利用を促進することにより、自家用車に依存し過ぎたライフスタイルからの転換を促し、人的交流の活発化を通じた地域の魅力向上と生活の質の向上を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和4年度(2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
情報発信・広報等	・県民への浸透・定着を図るための情報発信 ・各種イベントにおける広報ブース設置・歩く仕掛けづくり	17,077
ワークショップの開催	歩きたくなる仕掛けづくりをテーマにした県民参加型ワークショップの開催	2,000
子供の公共交通利用促進事業	路線バスを利用した子供向けイベントの開催等	2,986
合 計		22,063

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	新規 地方港湾改修費	予算額	54,810	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	地方港湾改修費	一般財源	810	314	港湾課

1 目的 呼子港先方地区における離島航路集約のための浮棧橋等を整備することにより、離島航路利用者の利便性・安全性の向上を図る。

また、港湾来訪者や地域の人々の憩いや交流の場となる緑地を整備することにより、地域の活性化を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和6年度 (2020年度～2024年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
離島航路集約	浮棧橋・防風フェンスの詳細設計	30,450
緑地整備	緑地の詳細設計	24,360
合計		54,810

主要事項  
地域交流部

(単位:千円)

事項名	(特別会計)港湾機能施設建設費	予算額	20,000 (債務負担)966,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	港湾機能施設建設費 (債務負担行為)港湾機能施設建設費	一般財源	0 (債務負担)0	550 (その一)64	港湾課

1 目的 伊万里港の老朽化したジブクレーンを荷役効率に優れるガントリークレーンに更新することにより、コンテナの荷役体制強化を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和4年度 (2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費				全体
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
荷役機械整備	ガントリークレーン仕様書作成	14,000				14,000
	ガントリークレーン製作・設置工事		20,000	500,000	466,000	986,000
合計		14,000	20,000	500,000	466,000	1,000,000

債務負担行為限度額

(3)債務負担行為を設定する理由

令和2年度から令和4年度にかけて実施する必要があることから、債務負担行為を設定するもの。

※ガントリークレーン…3万トン級以下のコンテナ船荷役に対応しており、30個以上/時間の取扱いが可能。

※ジブクレーン…1万トン級以下のコンテナ船荷役に対応しており、10～15個/時間の取扱いが可能。



主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	新規	SAGAスポーツピラミッド構想推進費 SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費	予算額	163,651	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規	SSPトップアスリート育成好循環創出事業費 SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費	一般財源	120,651	141・371	SAGAスポーツピラミッド推進グループ

1 目的 SSP構想基本方針に基づき、世界に挑戦する佐賀ゆかりのアスリートを育成し、選手引退後は佐賀に戻り指導者として、次世代のアスリート育成につながる好循環を確立し、スポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを推進する。

2 事業内容 (1)事業期間 SSPトップアスリート育成好循環創出事業費 令和元年度～令和5年度(2019年度～2023年度)  
SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分		内容	予算額
SSPトップアスリート育成好循環創出事業費	人材育成	スポーツエリートアカデミーSAGA(SEAS)において、 ・競技団体と県が協働で育成プログラムを作成し、高い競技力を佐賀に根付かせる ・一流育成機関等と連携し、佐賀に居ながらにして世界水準・最新の指導を受けられるようにする ・小学生から中学生を対象に、適性スポーツを判定する機会を設け、ジュニアアスリートを発掘する	106,857
	就職支援	SSPアスリートジョブサポの運営により、佐賀でアスリート・指導者が活躍できるよう、就職支援を行う	7,552
	地域づくり	スポーツとビジネスの融合を促進し、民間の知見や手法を活かしてスポーツが抱える課題解決を図ることで、スポーツを「支える」基盤づくり、スポーツの力を活かした地域づくりにつなげる	4,845
SSPトップアスリート育成好循環創出施設整備事業費	練習環境充実	全国大会等で優れた成績を残した競技の練習環境を充実させる (令和2年度) 鳥栖工業高校レスリング場建替え基本・実施設計、既存レスリング場解体設計	44,397
合計			163,651

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	文化振興事業費 名護屋城博物館施設設備整備費	予算額	40,341	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 「肥前名護屋」文化資源利活用推進事業費 屋外常設展示施設再整備事業費	一般財源	30,341	141・364	文化課

1 目的 我が国を代表する文化財である特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」を、より一層魅力的な文化・観光資源の拠点として磨き上げることにより、県北部エリアにおける地域振興の好循環の創出を目指す。

2 事業内容 名護屋城博物館・名護屋城跡を起点に、地域の関係諸団体との連携を強化し、周囲の陣跡エリアへの周遊を促す施策の実施、誘致プロモーションを行う。

(1)事業期間 「肥前名護屋」文化資源利活用推進事業費 令和元年度～(2019年度～)

屋外常設展示施設再整備事業費 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
「肥前名護屋」文化資源利活用推進事業費	・名護屋城エリアの活性化に係る全体事業計画の検討・策定 ・名護屋城エリアの活性化に向けた機運醸成のための集客イベント、周遊ツールの制作 等	29,480	文化課
屋外常設展示施設再整備事業費	・陣跡周遊の起点となる特別史跡「木下延俊陣跡」(名護屋城博物館の屋外展示施設)の再整備に係る設計 ・整備内容:見学路全体のリニューアル、遺構の復元展示、ガイドンス展示の導入 等	10,861	名護屋城博物館
合計		40,341	

主要事項  
地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	美術館・博物館「新・企画展」事業費	予算額	50,422	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	博物館開館50周年特別展開催費	一般財源	30,000	364	文化課

1 目的 博物館開館50周年という節目を契機として、稲作伝来をはじめとした縄文時代からいち早く世界とつながり続けてきた佐賀の姿と先人達の「志」を顕在化する特別展を開催することにより、県民の佐賀への愛着や誇りの更なる醸成と県内外からの誘客による新たな交流の創出を目指す。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和2年度(2019年度～2020年度)  
(2)事業概要 玄界灘と有明海という2つの海路を活かして、はるか昔から世界とつながっていた佐賀の歴史・文化を、各時代を象徴する資料や映像等を用いて分かりやすく紹介する。

名称	会期	展示内容	予算額
This is SAGA — 世界とつながる佐賀の旅 — (仮称)	令和2年9月18日 ～11月3日(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の稲作の起源: 菜畑遺跡(縄文時代)</li> <li>・吉野ヶ里遺跡と海を越えてきた徐福(弥生時代)</li> <li>・肥前国の誕生(奈良時代)</li> <li>・神崎荘と日宋貿易(平安時代)</li> <li>・蒙古襲来(鎌倉時代)</li> <li>・世界とつながる集団松浦党(室町時代)</li> <li>・名護屋城築城ともたらされた文化・産業(安土・桃山時代)</li> <li>・世界に影響を与えた有田焼(江戸時代)</li> </ul>	50,422

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	プロサッカー支援事業費	予算額	19,910	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 トップレベルスポーツ振興事業費	一般財源	19,910	142	スポーツ課

1 目的 県民が地元佐賀への誇りを持つきっかけを創出するとともに、次代を担う子どもたちが広くスポーツに触れる機会を設け、SSP構想の基本理念であるスポーツ文化の裾野拡大を目指す。

2 事業内容 県がスポンサーとなるサガン鳥栖のホームゲームにおいて、県内トップスポーツチームによるスポーツ教室等の各種事業を実施する。

(1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

内 容	予算額
県がスポンサーとなり、サガン鳥栖のホームゲームにおいて各種事業の実施 ・マッチデースポンサー協賛 ・県内トップスポーツチームによるスポーツ教室の開催 等	19,910

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	SAGAサンライズパーク整備事業費	予算額	14,664,520 (継続費)6,542,945	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	SAGAサンライズパーク整備事業費 (継続費)SAGAサンライズパーク整備事業費	一般財源	101,726 (継続費)1,945	371 (その一)10	SAGAサンライズパーク整備推進課

1 目的 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、県民の夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点の形成を図るとともに、スポーツ・文化など様々な活動を通じて地域の活力を生み出し、新たな佐賀県の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的なエリアになることを目指す。

2 事業内容 (1)事業期間 平成29年度～令和4年度(2017年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
施設整備		(892,571) 892,571	(13,013,235) 13,753,961	(22,391,420) 22,391,420	(10,605,015) 10,605,015	(46,902,241) 47,642,967
	継続費	(892,571) 892,571	(12,509,949) 12,509,949	(18,683,517) 18,683,517	(8,273,259) 8,273,259	(40,359,296) 40,359,296
			(503,286) 503,286	(3,707,903) 3,707,903	(2,331,756) 2,331,756	(6,542,945) 6,542,945
	単年度		740,726			740,726
設計・その他	設計(SAGAサンライズパーク外構工事等) その他(水泳場備品購入等)		910,559			910,559
合計		(892,571) 892,571	(13,013,235) 14,664,520	(22,391,420) 22,391,420	(10,605,015) 10,605,015	(46,902,241) 48,553,526

※上段( )書きは継続費設定額で内数

(3)継続費を設定する理由

陸上競技場メインスタンド増築・改修工事やペDESTリアンデッキ新築工事等について、令和2年度～4年度の複数年度にわたって契約する必要があるため継続費を設定するもの。

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催事業費 ヨットハーバー施設設備整備費	予算額	516,098 (債務負担)105,934	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業費 国スポ・全障スポ市町有施設整備事業費補助 国スポ・全障スポ県有競技施設整備費 ヨットハーバー施設設備整備費(国スポ関連) (債務負担行為)国スポ・全障スポ市町有施設整備事業費補助 (債務負担行為)国スポ・全障スポ県有競技施設整備費	一般財源	409,098 (債務負担)78,934	142・371 (その一) 13・14	国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ 大会総務企画課 国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ 大会競技式典課 SAGAサンライズ パーク整備推進課

- 1 目的 令和5年に佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会、第23回全国障害者スポーツ大会へ向けた準備を推進する。
- 2 事業内容 (1)事業期間 平成26年度～令和5年度(2014年度～2023年度)  
(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費		
		令和2年度	令和3年度	全体
大会開催準備事業費	大会開催に向けた準備及び運営体制の整備 ・広報事業、情報支援ボランティア養成事業、競技役員等養成事業、式典準備事業等	154,381	-	154,381
市町有施設整備事業費補助	競技会場となる市町有施設の整備に対する補助(7市町11施設)			
	市町名	施設名	市町名	施設名
	佐賀市	富士しゃくなげ湖ポート・カヌー競技施設(新設)	鳥栖市	市民体育館(改修)
			多久市	弓道場(新設)
	唐津市	野球場、市文化体育館、鎮西スポーツセンター体育館、松浦河畔公園庭球場(改修)	伊万里市	国見台球技場、野球場(改修)
		吉野ヶ里町	文化体育館(新設)	
		有田町	赤坂球場(改修)	
県有競技施設整備費	競技会場となる県有施設の整備(3施設)			
	所在地	施設名	整備内容	
	佐賀市	佐賀県射撃研修センター	クレー射撃放出機器等の更新	
	唐津市	唐津東中学校・高等学校	テニスコートの人工芝整備	
	佐賀県ヨットハーバー	艇置場及びスロープの改修設計		
合計		516,098	105,934	622,032

債務負担行為限度額

(3)債務負担行為を設定する理由

多久市弓道場及び有田町赤坂球場の施設整備に対する補助、佐賀県射撃研修センターのクレー射撃放出機器等の更新が令和2年度～3年度の複数年度にわたるため、債務負担行為を設定するもの。

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	観光連盟補助	予算額	4,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	観光連盟補助(受入環境整備事業)	一般財源	4,000	294	観光課

1 目的 本県を訪れるインバウンド観光客の利便性・快適性の向上を図るため、県内の飲食店における外国人の受入環境を整備する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和4年度 (2019年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
多言語メニュー作成支援	県内の飲食店における多言語メニューの作成支援	2,000
食のニーズへの対応強化	・ベジタリアンなど、食の多様化の理解促進を図るセミナー、ワークショップの開催 ・外国人観光客の受入対策を講じた飲食店等の情報発信	2,000
合計		4,000

主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)

(単位:千円)

事項名	観光振興事業費	予算額	6,400	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 サイクルツーリズム推進事業費	一般財源	6,400	294	観光課

1 目的 サイクルツーリズムの魅力発信と受入環境の整備を一体的に行うことにより、誘客を通じた新たな交流の創出、地域活性化を図るとともに、「歩くライフスタイル(※)」の推進につなげる。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
情報発信	自転車旅行記事や動画の発信	4,200
受入環境整備	観光施設や飲食店におけるサイクルラックの整備 等	1,300
九州各県連携負担金	九州各県と連携して広域的に取り組む情報発信、旅行商品造成 等	900
合 計		6,400

※歩くライフスタイル

歩くきっかけや楽しさを提案するとともに、自転車や公共交通の利用を促進することにより、自家用車に依存し過ぎたライフスタイルからの転換を促し、人的交流の活性化を通じた地域の魅力向上と生活の質の向上を図る取組。



主要事項

地域交流部(文化・スポーツ交流局)・産業労働部

(単位:千円)

事項名	観光振興事業費 流通対策推進費	予算額	73,813	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 新規 佐賀観光コンシェルジュ事業費補助 県産品販売支援事業費(情報発信拠点運営費)	一般財源	73,813	294・282	観光課 流通・貿易課

1 目的 佐賀県の玄関口(コムボックス佐賀駅前※)に観光・県産品の情報発信拠点を設け、県全域の観光案内、ニーズに応じたワンストップサービスの提案等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

また、洗練された県産品等でしつらえられた空間とし、観光・ビジネス客や県民を呼び込み、上質でおしゃれな県産品や佐賀の情報に触れてもらい、その情報を広く発信してもらうことにより、県産品等の認知度及びプレゼンスの向上を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
県全域の観光案内等に係る人材配置への支援	県全域の観光案内等に係る人材「佐賀観光コンシェルジュ(仮称)」の人件費について、佐賀市へ補助する。	6,000	観光課
県産品情報発信拠点の運営	県産品の展示・販売及びイベント等を実施する情報発信拠点の運営経費について、さが県産品流通デザイン公社へ補助する。	67,813	流通・貿易課
合計		73,813	

※コムボックス佐賀駅前：佐賀駅前の西友佐賀店跡地に開業予定の商業施設

主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	市民社会組織(CSO)活動支援事業費	予算額	7,224	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 CSO未来への一歩応援事業費	一般財源	7,224	143	県民協働課

1 目的 人材を雇用・育成するCSOに対して伴走支援を実施することにより、将来にわたって社会に貢献することができる「自立したCSO」となるための基盤強化を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
伴走支援の委託	CSOの人材確保・育成・定着に係る伴走支援の委託	7,194
選定委員会の開催	支援対象CSOを選定する委員会の開催	30
合計		7,224

※CSO

Civil Society Organizations(市民社会組織)の略で、佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称。

主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	図書館機能の充実推進事業費	予算額	14,219	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 チーム司書ネットワーク等推進事業費	一般財源	14,219	367	まなび課

1 目的 県立図書館司書が中心となって市町図書館司書とのネットワークを強化することにより、県内司書のレベルアップを図り、県民が本に親しむ環境づくりの充実を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
チーム司書ネットワークの創設	・県内司書のつどいの開催 ・リーダー司書による市町図書館の定期訪問	2,800
レファレンス(※)研究会、児童サービス研究会の運営	司書のレベルアップのための研究会の開催	1,081
児童書等の活用・広報	・各分野トップが薦める児童書の展示 ・子育て支援イベントへのブースの出展	3,669
リーダー司書の配置	・会計年度任用職員(司書)2名の配置	6,669
合計		14,219

※レファレンス

図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答すること。

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
県民環境部

(単位:千円)

事項名	交通安全対策費	予算額	59,162	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	交通事故ワースト脱却推進プロジェクト事業費	一般財源	59,162	137	くらしの安全安心課 (交通事故防止特別対策室)

1 目的 人口10万人当たりの交通事故発生件数の全国ワーストレベルを脱却するため、デザインのチカラを活用した「SAGA BLUE PROJECT」を展開することにより、交通安全に対する県民の意識改革を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)  
(2)事業概要

内 容	予算額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年代の県民を対象とした交通安全に対する意識向上を図る交通安全デザインコンクールを実施</li> <li>・テレビ・ラジオ・WEB等による効果的な広報 啓発資材の作成などコンクール優秀デザインを活用した広報の展開</li> <li>・寸劇を活かした交通安全教育及び安全運転サポート車の普及啓発</li> </ul>	59,162

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	地域ケア推進事業費	予算額	3,110	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 抱え上げない介護普及推進事業費	一般財源	0	177	長寿社会課

1 目的 介護職員の身体的な負担の軽減や高齢者の拘縮(こうしゆく)、褥瘡(じょくそう)などの二次障害を予防することに効果的な「抱え上げない介護」(\*)の取組を県内介護事業所に普及することにより、魅力ある介護現場を創出し、人材の定着を促進する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
動画制作	・抱え上げない介護を行うことによるメリットを数値等で示す動画を作成しWEB等で公開	593
セミナー等の開催	・介護事業所の経営者を対象としたセミナーの開催 ・介護事業所内で指導役となる職員を養成する講習会の開催	2,517
合計		3,110

※財源は、地域医療介護総合確保基金を活用

※「抱え上げない介護」

移乗などの身体介助の際に、介護する側される側双方において安全安心な、持ち上げない、抱え上げない、引きずらないケアを行うことで、介助者の腰に負担がかからない姿勢を意識しながらケアを行う取組や福祉用具等を活用して、移乗等のケアを行う取組。

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	重度障害者地域生活重点支援事業費補助 難病特別対策推進事業費 小児慢性特定疾病医療給付費	予算額	16,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 命の72時間事業費(在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業)	一般財源	16,000	173・194・185	障害福祉課 健康増進課 こども家庭課

1 目的 在宅の人工呼吸器使用者(児)に対して、非常用電源の整備を支援することにより、災害時等の安全を確保する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

内 容	対 象 者	予 算 額	担 当 課
非常用電源購入費助成  在宅人工呼吸器使用者(児)に対し、災害時等の大規模停電の際に命を守るための非常用電源(発電機、蓄電池、外部バッテリー等)の購入費を助成する。  ・補助率:10/10(上限20万円)	障害者	7,000	障害福祉課
	難病患者	4,000	健康増進課
	小児慢性特定 疾病児童	5,000	こども家庭課
合 計		16,000	

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	軽度・中度難聴児補聴器購入費補助	予算額	2,300	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	軽度・中度難聴児補聴器購入費補助(拡充分)	一般財源	2,300	174	障害福祉課

1 目的 片耳難聴児や人工内耳装用児を含む全ての難聴児の補聴器購入費等への支援を行うことにより、難聴児の言語習得、教育等における健全な発達をより一層推進する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

内 容	予 算 額
身体障害者手帳の対象とならない18歳以下の軽度・中度難聴児が補聴器等を購入・更新する経費を助成する市町に対する補助  (補助率) 県1/3 (拡充内容) ・対象者を「片耳難聴児」まで拡大 ・補助対象を「FM補聴器」や「人工内耳体外機の更新費」まで拡大 ※人工内耳体外機の更新は、身体障害者手帳所持者も補助の対象	2,300

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	身体障害者手帳交付管理費	予算額	21,215	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 障害者手帳カード化対応費	一般財源	21,215	175・176	障害福祉課

1 目的 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神保健福祉手帳」を本人の希望によりカード形式で発行することにより、障害者の利便性向上を図る。

2 事業内容 障害者手帳をカード形式で発行するため、手帳発行システムの改修及びカード発行用プリンタの導入を行う。

(1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
システム改修費	身体障害者手帳及び療育手帳発行システムの改修	7,088
機器購入及び保守費	カード発行用プリンター、周辺機器等の購入及び保守 ※総合福祉センター及び精神保健福祉センターにそれぞれ1台設置	10,862
その他	広報及びカード代等	3,265
合 計		21,215

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む



主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	県立社会福祉施設施設設備整備費	予算額	44,522 (継続費)360,010	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	点字図書館改築事業費 (継続費)点字図書館改築事業費	一般財源	1,522 (継続費)69,010	180 (その一)10	障害福祉課

1 目的 公共図書館とのネットワークを構築するとともに相談支援の機能を強化するなど、視覚障害者の情報拠点として点字図書館をリニューアルすることにより、視覚障害者の読書環境を向上させ自立や社会経済活動への参加促進を図る。  
なお、改築中は旧総合保健会館に仮移転する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～令和3年度(2019年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費		
		令和2年度	令和3年度	全体
施設整備	新点字図書館新築工事、工事監理等	(28,274) 29,473	(314,198) 315,848	(342,472) 345,321
	護岸の設計・工事	12,881		12,881
	外構工事(敷地の嵩上げ含む)		35,191	35,191
その他	移動書架の設置、備品購入等	(1,068)	(16,470)	(17,538)
		2,168	25,060	27,228
合計		(29,342) 44,522	(330,668) 376,099	(360,010) 420,621

※上段( )書きは継続費設定額で内数

(3)継続費を設定する理由

新点字図書館新築工事及び同工事の監理委託等並びに移動書架の設置は、令和2年度～3年度の複数年度にわたって契約する必要があるため、継続費を設定するもの。

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	発達障害者支援体制整備事業費	予算額	3,772	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 発達障害児・者支援再構築事業費	一般財源	2,620	181	障害福祉課

1 目的 発達障害児支援対策における課題を踏まえ、診断待機解消や家族の対応力を向上させるための取組を充実することにより、発達障害のある子供の成長を支援する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	財源内訳	
			国庫	一般財源
ペアレント・プログラム(※)の開催及び講師養成	・児童発達支援センター等においてペアレント・プログラムを5圏域で開催 ・ペアレント・プログラム講師養成のためのアドバンス講座の開催	2,305	1,152	1,153
小児科医向け研修事業	小児科医向け研修の開催	440	-	440
療育支援センター職員等育成事業	発達障害対応力向上のための研修受講	1,027	-	1,027
合計		3,772	1,152	2,620

※ペアレント・プログラム

発達障害やその傾向にある子供をもつ保護者や、子育てに難しさを感じる保護者が、子供の「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけることを目的としたグループ・プログラム。

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	地域医療従事医師確保対策事業費	予算額	5,615	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	地域医療支援センター事業費 (医師育成・定着促進事業)	一般財源	0	215	医務課

1 目的 高齢人口の増加に伴う今後の医療需要の高まりに対処するため、医師の育成・定着を促進する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
佐賀大学医師育成・定着促進プラン(仮称)の策定	「佐賀大学医師育成・定着促進プラン(仮称)」の策定・検討業務を佐賀大学に委託	3,036
勤務環境改善のためのシンポジウム開催	県内医療機関の院長や知事を含めたトップが集まるシンポジウム形式のセミナーを開催	2,579
合計		5,615

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	健康づくり推進事業費	予算額	15,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 さが健康維新県民運動推進事業費	一般財源	15,000	194	健康増進課

1 目的 生活習慣病の増加を抑え、県民の“元気で長生き”(健康寿命の延伸)を目指すため、子供世代と野菜摂取量が少ない働き盛り世代をターゲットに、野菜から食べることと、野菜の摂取量を増やすことの意識づけを図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

内 容	予算額
○子供世代に向けた取組 ・絵本やキャラクターを活用した普及啓発	15,000
○働き盛り世代に向けた取組 ・企業と連携した普及啓発	

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	新規 小児・AYA世代がん患者総合支援事業費	予算額	7,570	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	小児・AYA世代がん患者妊孕性温存治療助成費 小児・AYA世代がん患者在宅ケア助成費	一般財源	7,570	196	健康増進課 (がん撲滅特別対策室)

1 目的 進学、就職、結婚、出産といった変化の大きい時期に、がん罹患した小児・AYA世代(※)の若年がん患者が安心して治療を受けられる環境や、療養生活を送ることができる環境を整備する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
小児・AYA世代がん患者妊孕性温存治療助成費	小児・AYA世代のがん患者の妊孕性(にんようせい)温存治療費を助成する。 ※治療費を上限とした定額助成	3,060
小児・AYA世代がん患者在宅ケア助成費	小児・AYA世代の末期がん患者の在宅ケア費用を助成する。 ※月額6万円を上限として対象経費の9割を助成	4,510
合計		7,570

※AYA世代(Adolescent and Young Adult) : 15歳から30代までの思春期、若年成人

主要事項  
健康福祉部

(単位:千円)

事項名	感染症予防対策費	予算額	1,047	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 予防接種再接種事業費補助	一般財源	1,047	197	健康増進課

1 目的 造血細胞移植(※)後の予防接種の再接種費用を助成することにより、被接種者(保護者)の経済的負担の軽減並びに感染症の発生及びまん延の防止を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

内容	予算額
小児がん等の治療として造血細胞移植を行ったことにより、定期予防接種で得た免疫が減衰又は消滅した20歳未満の方のために、再接種費用を助成する市町に対する補助 ※補助率:県10/10	1,047

※造血細胞移植

血液のがんや免疫不全症などの場合に、患者の骨髄などにある異常な造血細胞を破壊した後、正常な造血細胞を投与することで、骨髄の再構築を図る治療方法。  
移植後は、予防接種で獲得していた免疫が失われてしまう。

主要事項  
健康福祉部(男女参画・こども局)

(単位:千円)

事項名	子育て支援事業費	予算額	14,030	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 多胎家庭等サポート事業費	一般財源	14,030	186	こども家庭課

1 目的 多胎妊産婦等に妊娠から出産、育児までの切れ目のない支援を行い、不安に寄り添うことで、多胎家庭の負担感や孤立感の軽減を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
多胎児・未熟児サポートブック事業	・母子健康手帳のサポートブック配布 ・保健福祉業務従事者向け研修の実施	1,679
多胎ピアサポート事業	・ピアサポーター(※)による相談支援、交流会等の実施 ・ピアサポーターの育成・確保	1,297
多胎家庭へのヘルパー派遣事業	・ヘルパー派遣による家事代行支援 ・ヘルパー向け研修の実施	11,054
合計		14,030

※ピアサポーター：多胎育児の経験を持つ支援員

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	起業支援・新市場創出事業費	予算額	14,976	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 ベンチャーキャピタル等投資促進事業	一般財源	14,976	285	産業企画課

1 目的 スケールアウト(※1)の可能性を有する県内の起業家や新興企業を資金調達面から支援するため、都市部に多く所在するベンチャーキャピタル(VC)(※2)等からの投資を促す。

なお、本事業の推進により、2年間で10件(初年度は4件)程度の案件発掘、VC等からの出資の目途を立てる。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度(2020年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
VC等との協定締結及び活動支援	・県内の起業家等への投資意向がある県内外のVC等と協定を締結 ・県側から投資対象案件を紹介、VC等が目利き及び育成 ・投資につながれば、協定に基づきVC等へ投資額見合いの負担金支給	10,000
スタートアップ成長支援プログラム	投資による資金調達への啓発・理解促進を図るとともに、投資に馴染むシード(※3)となるよう成長を促進するためのセミナー等の開催	4,976
合 計		14,976

※1 スケールアウト:一般的な製品・サービスの改良などに伴う安定的で緩やかな成長ではなく、顧客やユーザーの拡大によって売上や利益の急激な成長をもたらすこと。

※2 ベンチャーキャピタル:個人投資家や機関投資家、事業会社などから集めた資金を、高い成長が見込まれるベンチャー企業に提供する投資会社。

※3 シード:ビジネスの「種」となるプランやアイデアなどを持ってはいるが、まだビジネスとして確立していなかったり、着手したばかりの起業家や企業。



主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	起業支援・新市場創出事業費 地域産業支援対策事業費 産業人材確保プロジェクト事業費	予算額	35,429	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 プログラミング人材拡大推進事業費 新規 ものづくり産業AI・IoT導入支援事業費 新規 IT産業特定人材育成・確保事業費	一般財源	35,429	285・287・224	産業企画課 ものづくり産業課 産業人材課

1 目的 今後の県内の産業を担う人材に対し、ITに関する知識を習得する機会を提供するとともに、IT企業やものづくり企業に関し、現場に即したより実践的なスキル習得機会を提供することにより、人材面からの産業振興を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)  
(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
プログラミング人材拡大推進事業	プログラミング言語Python(パイソン)等を学べるIT人材育成講座の開催等	25,000	産業企画課
ものづくり産業AI・IoT導入支援事業	製造系及び情報系の専門人材を配置し、伴走型の企業支援を実施	5,430	ものづくり産業課
IT産業特定人材育成・確保事業	県内IT産業へ向けた人材育成及びマッチング支援	4,999	産業人材課
合計		35,429	

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	地域商業活性化対策事業費	予算額	15,164	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 歩こうまちなか。賑わい創出事業費	一般財源	15,164	281	経営支援課

- 1 目的
- 多くの人々が楽しみながらまちあるきできるよう、まちなかを人生ゲーム®の舞台として、「まちあそび」をしながら、まちなかの店舗へ訪れる機会を創り出すことにより、まちの賑わいづくりを図る。
- また、初年度の開催は、令和元年佐賀豪雨災害等で被災した自治体を対象とし、被災店舗の支援の一つとする。

- 2 事業内容
- (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)
- (2)事業概要

内 容	予算額	備 考
<p>まちあるきイベントの開催</p> <p>店舗が集積する商店街等を舞台としたリアル版「人生ゲーム®」を開催 ※商店街の店舗がマスとなり、ゲーム参加者はルーレットで出た目に従って店舗を巡る。</p>	15,164	5か所(予定)

<※>予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	中小企業者等被害対策事業費	予算額	80,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 中小企業等事業継続力強化支援事業費	一般財源	40,000	281	経営支援課

1 目的 県内中小企業・小規模事業者のBCP(※)の策定を推進するとともに、BCPに基づく防災・減災に係る取組等について支援することで、安定した事業継続のための経営力を強化する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度 (2020年度)

(2)事業概要

内 容	予算額	財源内訳	
		国庫	一般財源
・BCPを作成した事業者に対し、安定した事業継続のための取組に係る以下の経費について補助 (補助率2/3以内、上限額2,000千円)  ① 防災・減災に係る取組(設備投資)に要する経費 ② 被災事業者の生産性向上のための設備投資に係る経費 ※ ②は令和元年佐賀豪雨災害等の被災事業者が対象。	80,000	40,000	40,000

※BCP(事業継続計画)

企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続又は早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	コスメティック構想推進事業費	予算額	50,000 (債務負担)8,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 コスメ創業・成長支援事業費 (債務負担行為)コスメ創業・成長支援事業費	一般財源	0 (債務負担)0	144 (その一)15	ものづくり産業課 (コスメティック構想推進室)

1 目的 創造的な事業を展開するコスメティックスタートアップ企業を支援・誘致することにより、美と健康に関するコスメティック産業の集積を加速させる。

なお、本事業の推進により、令和6年度までに新たなビジネスモデルを持ったコスメティック産業分野の起業件数を15件(累計)とする。

2 事業内容 技術力や有望なビジネスプランを有する県内外のコスメティックスタートアップ企業に対し、短期間で事業を成長軌道に乗せるためのプログラムを通じて成長を促し、県内への企業立地を推進する。

(1)事業期間 令和2年度～令和6年度(2020年度～2024年度)

(2)事業概要

内 容	年度別事業費		
	令和2年度	令和3年度	全体
コスメ起業支援事業委託 起業支援コーディネータの配置、短期間での成長を実現するプログラムの実施、国際展示会への出展支援等	50,000	8,000	58,000

債務負担行為限度額

(3)債務負担行為を設定する理由

国際展示会への出展は前年度のプログラム受講者が対象。フランスの展示会(Cosmetic360)に出展するためには、開催年の前年12月までに申込を行う必要があることから、債務負担行為を設定するもの。

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	産業人材確保プロジェクト事業費	予算額	27,645	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 Uターン就職活動交通費支援事業費	一般財源	19,791	224	産業人材課

1 目的 Uターン就職のハードルとなっている、就職活動における「地元までの交通費」の負担を軽減することで、県外在住者の県内就職促進を図る。

2 事業内容 大学生等の県外在住者を対象に、県内企業への就職活動にかかる交通費を補助。また、大学等を訪問し事業周知や県内企業の認知度向上に向けた取組を行う。

(1)事業期間 令和2年度～(2020年度～)

(2)事業概要

内容	予算額	財源内訳	
		国庫	一般財源
・Uターン就職活動に係る交通費補助 【対象】 インターンシップ、企業説明会、企業との交流会、採用試験・面接等に係る交通費 【補助額】 定額(1/2を目安に設定、上限額3万円) ※往復1万円以上要するものに限る  ・事業の周知及び県内企業の認知度向上に係る大学等訪問	27,645	7,854	19,791

<※>予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	農産物流通対策費	予算額	15,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 かんきつ新品種(佐賀果試35号)ブランド推進事業費	一般財源	15,000	234	流通・貿易課

1 目的 令和2年度中にデビューを予定している、かんきつの新品種「佐賀果試35号」のブランド化を図るため、ネーミングやロゴ等を作成し、プロモーションを展開する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度(2020年度)  
(2)事業概要

内 容	予算額
ネーミング・ロゴ等制作 ・デザイナー、コピーライターへ委託し、ネーミング、ロゴ、パッケージデザインを作成 ・発表会イベントの実施 ・商標登録出願	15,000

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	産地再生支援事業費		予算額	10,000	予算説明書頁		課名 (室名)													
細事項名	新規	諸富家具世界へさあいこう応援事業費	一般財源	10,000	282		流通・貿易課													
1 目的	輸入家具の増加や大手メーカーの台頭等により国内での売上拡大がより困難になる中、コンパクトで小回りが利く産地の 特長を活かして、海外展開に取り組む事業者の増加を図るため、産地組合による海外販路開拓の取組を支援する。																			
2 事業内容	(1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)																			
	(2)事業概要																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北米・イタリア市場 開拓</td> <td>輸出先進事業者等向けに産地組合が行う、北米・イタリア市場におけるデザイナー人脈を活かしたブランド構築、販路開拓の取組への補助</td> <td>8,500</td> </tr> <tr> <td>アジア市場開拓</td> <td>輸出未参入事業者向けに産地組合が行う、アジア市場における販路開拓促進の取組への補助</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table>								区分	内容	予算額	北米・イタリア市場 開拓	輸出先進事業者等向けに産地組合が行う、北米・イタリア市場におけるデザイナー人脈を活かしたブランド構築、販路開拓の取組への補助	8,500	アジア市場開拓	輸出未参入事業者向けに産地組合が行う、アジア市場における販路開拓促進の取組への補助	1,500	合計		10,000
区分	内容	予算額																		
北米・イタリア市場 開拓	輸出先進事業者等向けに産地組合が行う、北米・イタリア市場におけるデザイナー人脈を活かしたブランド構築、販路開拓の取組への補助	8,500																		
アジア市場開拓	輸出未参入事業者向けに産地組合が行う、アジア市場における販路開拓促進の取組への補助	1,500																		
合計		10,000																		
54																				

主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	産地再生支援事業費	予算額	20,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 陶磁器アジア市場開拓スタートアップ事業費	一般財源	20,000	282	流通・貿易課

1 目的 「アジアベストレストラン50」等のサガマリアージュ(※)の取組を契機に、本県との人的ネットワークが広がることを期待されるアジア市場に向けて、様々なビジネスチャンス獲得に取り組む事業者を支援することにより、世界に誇れる伊万里・有田焼等の販路拡大を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
専門家セミナー	アジア市場から専門家を招聘し、現地市場の特性を掴むセミナー、勉強会を開催	9,000
バイヤー招聘	サガマリアージュの取組等により広がるネットワークを活かし、バイヤー招聘、フェア開催を実施	11,000
合計		20,000

※サガマリアージュ:佐賀県の魅力ある地域資源(食材や器など)を料理人の感性で調和させ磨き上げることにより、新しい価値を創造し、佐賀県の存在価値を高めていくこと。



主要事項  
産業労働部

(単位:千円)

事項名	産地再生支援事業費	予算額	15,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 オリパラ大会さが県産品との出逢い創出事業費	一般財源	15,000	282	流通・貿易課

1 目的 国内外から多くの人々が訪れる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を捉え、国内外のメディアや観光客・大会関係者等に向けて、世界に誇れる伝統工芸品など佐賀県の魅力を発信し、認知度向上を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度(2020年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
ブース出展	東京都メディアセンター(東京スポーツスクエアに設置)にて展開される「全国各地の特産品等の魅力発信ゾーン」に県ブースを出展し、伝統工芸品等のPR・販売を実施	13,900
記念品プロジェクト	各都道府県が協力して、伝統工芸品をオリパラ大会関係者に贈呈する「東京2020大会記念品プロジェクト」に参画	1,100
合計		15,000

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	中山間地域農業・農村振興費 さが農村のよさ発掘・醸成事業費	予算額	7,346	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 中山間・棚田地域活性化推進事業費	一般財源	7,346	235・253	農政企画課 農山漁村課

1 目的 担い手不足や耕作放棄地などが深刻化している中山間・棚田地域において、新たな地域活性化モデルの構築に向けた取組を推進する。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	事業主体	予算額	担当課
新たな中山間地域 営農システムの構築	農作業の受託を行い、農地の受け皿機能等も有した広域営農組織の設立・運営に必要な経費に対する補助 (補助率:県1/2以内)	営農組織	2,020	農政企画課
地元密着型支援による自立した棚田地域づくり	棚田地域の底力を引き出す方策等を有する知識を有した人材(コーディネーター)の配置	県	5,326	農山漁村課
合計			7,346	

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	有害鳥獣対策費	予算額	213,836	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	有害鳥獣対策推進費	一般財源	78,318	235	生産者支援課

1 目的 有害鳥獣の棲み分けや侵入防止の対策等を推進するとともに、捕獲頭数を増加させることにより農作物被害の軽減を図る。  
なお、本事業の推進により、令和4年度までに有害鳥獣による農作物被害額を1億2千万円に縮減する。

2 事業内容 有害鳥獣の捕獲に対する金銭支援、農作物被害防止の指導にあたる人材の育成等を行う。

(1)事業期間 平成14年度～(2002年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	拡充の内容
有害鳥獣被害防止対策事業 (国庫事業)	有害鳥獣捕獲従事者への捕獲報償金の交付	134,878	
有害鳥獣被害防止対策事業 (県単事業)	有害鳥獣捕獲従事者への捕獲報償金の交付及び協議会等が行う有害鳥獣の捕獲委託費の補助等	75,158	捕獲報償金について、狩猟期間(11月～3月)を新たに交付対象とする。 (拡充分は20,000千円)
有害鳥獣被害防止対策推進費	被害防止対策会議の開催、研修の実施等	3,800	
合計		213,836	

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	新規 農業労働力確保支援体制整備事業費補助	予算額	8,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	農業労働力確保支援体制整備事業費補助	一般財源	8,000	237	農産課

1 目的 県内の農家や選果場など農業現場の労働力確保に資する体制整備を支援し、労働力不足を解消する。  
なお、本事業の推進により、令和4年度までに人手不足であると回答した農家の割合(平成30年度:50%)を40%以下とする。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

内 容	予算額
・農家等からの労働力確保の相談に対し、JAが求人・求職のマッチングを行う支援窓口を設置する費用の一部を補助 ・マッチング等の調整を行う労働力支援アドバイザー(仮称)に要する経費への補助(補助率:1/2以内)	8,000

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	園芸農業総合対策事業費 基盤整備促進事業費	予算額	1,412,289	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	さが園芸生産888億円推進事業 基盤整備促進事業費	一般財源	890,657	239・254	園芸課 農地整備課

1 目的 先進的経営による所得向上や意欲ある新規就農者の確保・育成、経営力のある経営体や産地の育成などを推進することにより、園芸農業産出額の向上を図る。

なお、本事業の推進により、令和10年までに園芸農業産出額を888億円とすることを旨とする。

2 事業内容 (1)事業期間 令和元年度～(2019年度～)

(2)事業概要

区分	内容	予算額	担当課
園芸農業の振興	さが園芸888億円推進運動の展開	6,339	園芸課
施設・機械整備、取組への支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸用施設・機械の整備に対する補助(補助率:1/2、4/10、1/3)</li> <li>収量・品質の向上や新たな産地づくりに向けた取組に対する補助(補助率:1/2、定額等)</li> <li>新規就農者等を受け入れるための施設園芸団地の整備【新規】</li> <li>露地野菜の産地拡大に向けた集荷・流通システム等の導入【新規】</li> </ul>	1,319,500	園芸課
新品種技術確立、規模拡大技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いちごさん」の高収量化、高品質化技術の確立</li> <li>大規模栽培に適したきゅうり環境制御技術の開発</li> <li>きゅうり先進的経営者の技術伝承ツールの開発</li> <li>中晩柑新品種「佐賀果試35号」の振興</li> </ul>	57,740	園芸課
農地等の生産基盤の整備	「園芸産地888計画」の実現に必要な農地の基盤整備に対する補助【新規】	28,710	農地整備課
合 計		1,412,289	

〈※〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	繁殖基盤強化対策事業費	予算額	33,753 (債務負担)9,205	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 佐賀牛産地確立拠点施設整備事業費 (債務負担)佐賀牛産地確立拠点施設整備事業費	一般財源	0 (債務負担)0	248 (その一)17	畜産課

1 目的 肥育素牛の県内自給率を高め、「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産拡大を図るため、主要産地である唐津地域において、担い手の研修機能を備えた肥育素牛生産拠点となるブリーディングステーション(※)の整備を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 令和2年度～令和3年度(2020年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	年度別事業費		
		令和2年度	令和3年度	全体
設計業務・監理業務	拠点施設整備に係る実施設計・監理	[0] 33,753	[9,205] 9,205	[9,205] 42,958
施設・機械整備	拠点施設整備工事及び機械の整備	[0] 0	[0] 957,042	[0] 957,042
合計		[0] 33,753	[9,205] 966,247	[9,205] 1,000,000

※[ ]書きは債務負担行為限度額で内数

(3)債務負担行為を設定する理由

佐賀牛産地確立拠点施設の設計・監理業務について、令和2～3年度の複数年度にわたって契約する必要があるため債務負担行為を設定するもの。

※ブリーディングステーション:繁殖雌牛の種付けから分娩までの各過程を農家に代わって実施することにより、受胎率の向上や農家の労働力軽減を図るための繁殖支援施設

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	ふる郷の木づかいプロジェクト事業費	予算額	47,281	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	ふるさと木材利用拡大推進事業費	一般財源	37,781	262	林業課

1 目的 住宅や公共的施設の建設にあたり、県産木材の利用を促進することにより、木の良さを県民にアピールし県産木材の利用拡大を図る。

2 事業内容 (1)事業期間 第2期:令和2年度～令和6年度(2020年度～2024年度)

(2)事業概要

内 容	予算額	財源内訳		補助率等	事業主体
		基金(※)	一般財源		
新築木造住宅に対する補助 (拡充)リフォームに対する補助	28,467	—	28,467	新築 300千円/棟 リフォーム 200千円/棟	県
(拡充)木塀の設置に対する補助	9,500	9,500	—	50千円/m 上限3,000千円/箇所	
木造住宅コンクールの開催等	5,031	—	5,031		
自治会公民館に対する補助	2,063	—	2,063	7.5%以内 上限2,500千円/棟	自治会 ・ 市町
学校等への木製品の導入に対する補助	2,220	—	2,220	1/2以内 上限7.5千円/セット	
合 計	47,281	9,500	37,781		

※ 佐賀県森林環境譲与税基金

主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	試験研究費	予算額	15,000	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 玄海地区漁業スマート化実証事業費	一般財源	15,000	276	水産課

1 目的 玄海地区におけるイカ釣り漁業等のICT技術(※)を活用したスマート化(操業の効率化など)を推進し、漁業者経営の改善を図る。

2 事業内容 玄海地区の漁業者が行う試験操業により、海況・漁場の予測システムの精度向上を図り、操業の効率化等、経営改善の成功事例(ICT技術を活用したスマート化のモデル)を創出する。

(1)事業期間 令和2年度～令和5年度(2020年度～2023年度)

(2)事業概要

内容	予算額
イカ釣り漁業等での実証試験 ・試験操業による操業データ取得及びデータ解析	15,000

※イカ釣り漁業等のICT技術：海況・漁場予測システム、海洋観測バイデータのデータベース化等の漁業に関する情報・通信技術



主要事項  
農林水産部

(単位:千円)

事項名	基礎調査・指導費	予算額	1,400	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	有明水産振興センター基礎調査・指導費	一般財源	1,400	276	水産課

1 目的 有明海西南部地区のノリ養殖の安定生産を目指し、同地区で頻発する赤潮による色落ち被害を軽減させる技術を開発を行う。

2 事業内容 赤潮原因プランクトンの動態を把握し、その増殖特性を明らかにするとともに、西南部漁場に設置した機器により環境情報を取得し、赤潮の発生予察技術の開発、流況及び生態系モデルの構築を行う。

(1)事業期間 令和2年度～令和4年度(2020年度～2022年度)

(2)事業概要

内容	予算額	備考
・赤潮の発生予察技術の開発 ・西南部漁場における流況モデル及び生態系モデルの構築	1,400	九州大学、佐賀大学、 有明海漁協との連携事業

主要事項  
県土整備部

(単位:千円)

事項名	直轄河川事業負担金 直轄災害復旧事業負担金 広域河川改修費	予算額	2,229,986	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 直轄河川事業負担金(河川激甚災害対策特別緊急事業) 直轄災害復旧事業負担金 新規 広域河川改修費(河川激甚災害対策特別緊急事業)	一般財源	1,000	309・375・308	河川砂防課

1 目的 令和元年佐賀豪雨により、六角川・牛津川の沿川地域で発生した甚大な浸水被害を踏まえ、六角川水系緊急治水対策プロジェクトの一環として、国と県が河川整備を緊急的に行い、同様の災害による浸水被害の防止・軽減を図る。

2 事業内容 国管理河川の六角川や牛津川、県管理河川の武雄川、広田川、山犬原川で緊急的に河川整備を行う。

(1)事業期間 令和2年度～令和6年度(2020年度～2024年度)

(2)事業概要

事業名	河川名	整備内容	予算額
河川激甚災害対策特別緊急事業	【国管理河川】 六角川 牛津川	分水路等の河道整備、排水ポンプ増設 遊水地整備、河道掘削	1,488,000
	【県管理河川】 武雄川 広田川 山犬原川	河道掘削、護岸工、橋梁・堰改築等 排水機場新設 河道掘削、護岸工、橋梁・堰改築等	645,000
河川大規模災害関連事業	【国管理河川】 牛津川	引堤による河道整備	96,986
合 計			2,229,986

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	校舎等施設整備費	予算額	28,071	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 特別支援学校整備事業費(うれしの特別支援学校)	一般財源	28,071	356	教育総務課

1 目的 児童生徒数の増加が著しい、うれしの特別支援学校の校舎の改修及び作業実習棟(紙工室)の増築等を行い、教育環境の改善を図る。

2 事業内容 教室(5教室)の整備、玄関・作業実習棟(紙工室)の増改築を行うための地質調査や基本・実施設計等を行う。

(1)事業期間 令和2年度～令和3年度 (2020年度～2021年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
調査費、事務費	文化財調査、地質調査、事前家屋調査 等	9,001
基本・実施設計費	オープンスペース改修、玄関拡張整備、作業実習棟(紙工室)増築工事の基本・実施設計	19,070
合 計		28,071

主要事項  
教育委員会事務局

(単位:千円)

事項名	高等学校文化事業費補助	予算額	6,779	予算説明書頁	課名 (室名)
細事項名	新規 さが総文の「志」継承事業費	一般財源	6,779	354	学校教育課 (全国高総文祭推進室)

- 1 目的 「2019さが総文」を契機に活性化した文化部活動のレベルアップを図り、佐賀の文化芸術活動の発展を目指す。
- 2 事業内容 県高等学校文化連盟に対し、文化部活動活性化のために必要な経費や全国高等学校総合文化祭等への派遣経費を補助する。

(1)事業期間 令和2年度～令和4年度 (2020年度～2022年度)

(2)事業概要

区分	内容	予算額
文化部活動活性化事業	文化部活動活性化のための仕組みづくりや、外部指導者への謝金、会場使用料などに係る経費を補助	2,179
全国大会等生徒派遣事業	文化部で活動する生徒の全国大会等派遣に係る経費を補助	4,600
合計		6,779

経済対策等一覧（安心と成長の未来を拓く総合経済対策関係）

（単位：千円）

区 分	当初予算額	主な事業	
		うち一般財源	
I. 災害からの復旧・復興と安全・安心の確保	4,883,789	29,504	
防災・減災、国土強靱化の強力な推進	4,883,789	29,504	道路整備交付金事業費（1,562,198） 河川整備交付金事業費（1,231,500） 農村地域防災減災事業費（563,490） 直轄河川事業負担金（368,640） 障害者福祉施設整備費補助（325,674）
II. 経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援	228,321	12,453	
農林水産業の成長産業化と輸出力強化の加速	228,321	12,453	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費（152,321） 県営漁港漁村活性化対策事業費（76,000）
III. 未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上	28,935	24,542	
Society5.0時代を担う人材投資、子育てしやすい生活環境の整備	24,542	24,542	私立学校施設設備整備費補助（18,987） 社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸付事業費補助（5,555）
切れ目のない個人消費の下支え	4,393	0	地域情報化推進費（4,393）
合 計	5,141,045	66,499	